

2020年5月21日 全7頁

Indicators Update

2020年4月貿易統計

コロナ禍で欧米向け輸出が大幅減少/輸入はコロナ特需が押し上げる

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄大郎
シニアエコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2020年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲21.9%と大幅に減少し、ほぼコンセンサス（同▲22.2%）通りの着地となった。欧米を中心とした各国のロックダウン措置等による経済活動の停滞が輸出を直撃した。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲14.9%と2ヶ月連続で減少した。地域別に見ると、米国向け（同▲28.3%）、EU向け（同▲22.4%）、アジア向け（同▲4.5%）といずれも減少した。とりわけ米国、EU向けは壊滅的な数値となった。アジア向けは半導体等電子部品や同製造装置などが増加したことで、欧米と比べて減少幅が限定的なものとなった。
- 4月の輸入数量（大和総研による季節調整値）は前月比+7.8%と2ヶ月連続で増加した。品目別に見ると、中国などアジアからの織物用糸・繊維製品や通信機類などが全体を押し上げた。織物用糸・繊維製品はマスクやその原材料を含んでいる。通信機に関しては、テレワークの拡大等によって需要が急増したことが押し上げたとみられる。
- 先行きの輸出数量は、4月を底に緩やかに増加するとみている。とはいえ、新型コロナウイルスの影響が表れる前の水準まで回復するには相当の時間を要するだろう。世界より一足先に感染収束に成功した中国向けの輸出が全体を下支えするものの、欧米でのロックダウン措置等の解除の動きはあくまでも段階的なものであり、正常化には程遠い状態である。回復も非常に緩やかなものにとどまるだろう。また、早期に経済活動を再開したばかりに、再び新型コロナウイルスの感染が拡大することになれば、ロックダウンの再実施等も予想され、減少基調が継続するリスクも十分にある。

【貿易金額】新型コロナウイルスの影響で輸出は大幅減、貿易収支も大幅な赤字に

2020年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲21.9%と大幅に減少し、ほぼコンセンサス（同▲22.2%）通りとなった。季節調整値で見ても、前月比▲10.4%と2ヶ月連続で減少した。欧米を中心とした各国のロックダウン措置等による経済活動の停滞が輸出にも直撃している。

他方、輸入金額は前年比▲7.2%となった。季節調整値では前月比+0.2%と僅かながら2ヶ月連続で増加した。輸出が急減した結果、貿易収支は▲9,304億円（季節調整値では▲9,963億円）と大幅な赤字となった。

図表1：貿易統計の概況

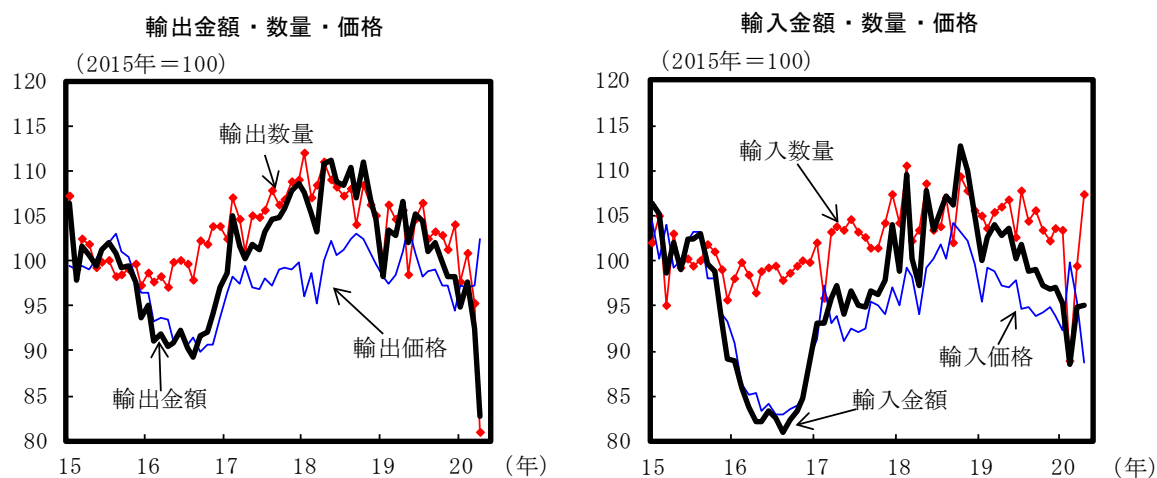
		2019年					2020年				
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
原系列 前年比 %	輸出金額	▲8.2	▲5.2	▲9.2	▲7.9	▲6.3	▲2.6	▲1.0	▲11.7	▲21.9	
	コンセンサス									▲22.2	
	DIRエコノミスト予想									▲21.4	
	輸入金額	▲11.8	▲1.4	▲14.7	▲15.6	▲4.8	▲3.6	▲13.9	▲5.0	▲7.2	
	輸出数量	▲5.9	▲2.3	▲4.4	▲5.0	▲1.9	▲1.6	▲2.4	▲11.2	▲21.4	
	価格	▲2.4	▲2.9	▲5.0	▲3.1	▲4.6	▲1.0	1.4	▲0.6	▲0.7	
	輸入数量	▲6.1	6.7	▲6.1	▲8.1	1.2	▲1.7	▲17.3	▲2.5	1.3	
価格	▲6.1	▲7.7	▲9.2	▲8.2	▲6.0	▲1.9	4.2	▲2.5	▲8.4		
	貿易収支(億円)	▲1,522	▲1,291	112	▲884	▲1,591	▲13,151	11,066	54	▲9,304	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	▲3.1	0.8	▲2.2	▲1.5	▲0.1	▲3.3	2.8	▲5.3	▲10.4	
	数量	▲3.6	0.7	▲0.5	▲1.5	2.7	▲6.1	3.2	▲5.6	▲14.9	
	価格	0.5	0.2	▲1.7	0.0	▲2.8	3.0	▲0.4	0.3	5.3	
	輸入金額	▲2.9	0.0	▲1.7	▲0.5	0.3	▲1.8	▲7.0	7.2	0.2	
	数量	▲3.1	1.1	▲2.0	▲1.1	1.4	▲0.3	▲14.0	11.9	7.8	
	価格	0.3	▲1.1	0.4	0.7	▲1.1	▲1.5	8.0	▲4.2	▲7.1	
		貿易収支(億円)	▲902	▲398	▲700	▲1,321	▲1,572	▲2,457	3,615	▲3,809	▲9,963
	税関長公示レート	107.21	106.69	107.77	108.76	108.95	109.30	109.50	107.96	108.56	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】 欧米向けが激減、アジア向けは欧米と比べて限定的

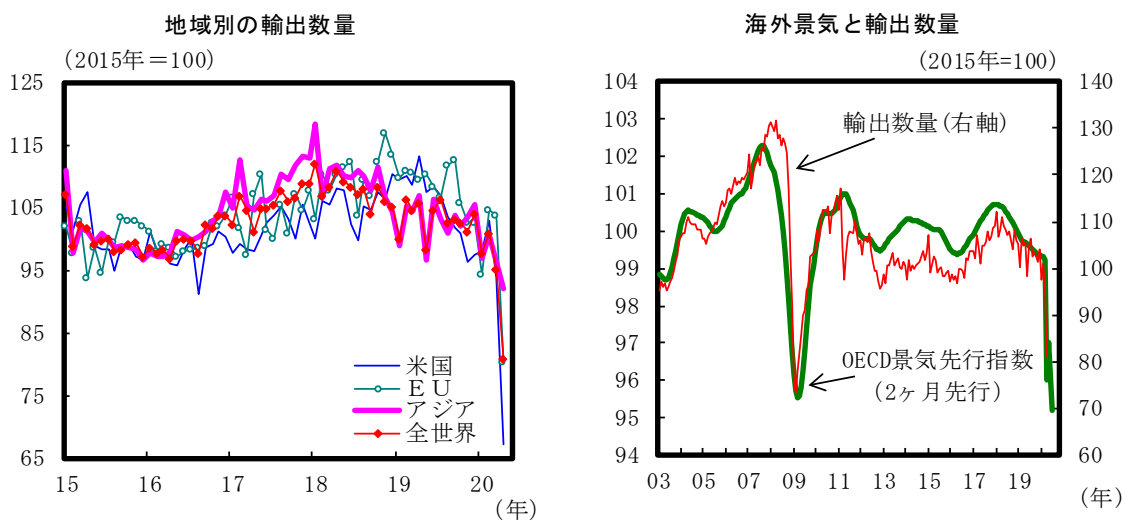
4月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲14.9%と2ヶ月連続で減少した。地域別に見ると、米国向け（同▲28.3%）、EU向け（同▲22.4%）、アジア向け（同▲4.5%）といずれも減少した。とりわけロックダウン等の措置によって経済活動が停滞していた米国、EU向けは壊滅的な数値となった。

地域別・品目別に4月の動きを見ると、米国向けは自動車や同部分品、原動機などの資本財を中心に大幅に減少した。ウエイトの大きい乗用車は前月比▲50%を超える減少率である。その他の品目においても軒並み減少しており、経済活動停滞の影響が鮮明に表れている。

EU向けでは、自動車や同部分品、一般機械を中心に大幅に減少した。EU向けの自動車輸出は2019年夏以降、減少基調にあり、ピークをつけた2019年7月対比では6割減となる。水準で比較すると東日本大震災直後の2011年4月以来の低さとなった。

アジア向けは、自動車や原動機などの資本財が減少したものの、半導体等電子部品や半導体製造装置などが増加に寄与したことで、欧米向けと比べて減少幅が限定的なものとなった。半導体等電子部品は特に中国向け輸出が増加しており、中国国内の工場が再開したことによる需要の回復が考えられる。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【輸入数量】 コロナ特需が全体を押し上げる

4月の輸入数量（大和総研による季節調整値）は前月比+7.8%と2ヶ月連続で増加した。輸入数量は2月に急減したが、3、4月はV字回復している。4月の動きを品目別に見ると、中国などアジアからの織物用糸・繊維製品や通信機類、欧州からの医薬品などの輸入が全体を押し上げた。織物用糸・繊維製品はマスクやその原材料を含んでいる。通信機に関しては、テレワークの拡大等によって需要が急増したことが押し上げたとみている。こうした新型コロナウイルスの感染拡大による特需が全体を押し上げたようだ。

【見通し】 輸出は4月を底に増加へ転じるとみるも、元の水準に戻るには相当の時間を要する

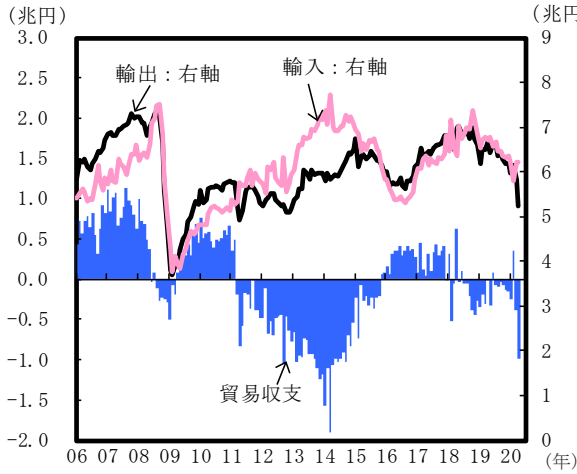
先行きの輸出数量は、4月を底に緩やかな増加するとみている。とはいえ、新型コロナウイルスの影響が表れる前の水準まで回復するには相当の時間を要するだろう。

主要な最終需要地である欧米ではロックダウン等の措置を段階的に緩和し経済活動を再開する動きが見られている。こうした動きが今後も継続すれば、輸出も徐々に増加していくだろう。とはいえ、経済活動の再開は段階的なものであり、正常化にはほど遠い状態である。この数ヶ月間で失った需要を取り戻すようなV字回復は描きにくい。また、早期に経済活動を再開したばかりに、再び新型コロナウイルスの感染が拡大することになれば、ロックダウンの再実施等も予想され、減少基調が継続するリスクも十分にある。

一方、世界より一足先に感染収束に成功した中国向けの輸出は緩やかに増加し、全体を下支えするとみている。また、中国と密接なサプライチェーンを形成しているアジア向け輸出についても、中国の内需が本格的に回復してくれば、持ち直しも期待できよう。また、これらの地域向け輸出は電子部品・デバイスのウエイトが大きい。第5世代移動通信システム（5G）向けやテレワーク等の推進によって需要は旺盛であることが見込まれるため、欧米と比べ早期に回復する可能性がある。ただし、米国・欧州での最終需要の回復が鈍い中では、中国・アジア向けの中間財輸出は低迷することが見込まれる。そのため、中国・アジア向けの輸出が元の水準に戻るのも、世界的な感染収束時期に依存するだろう。

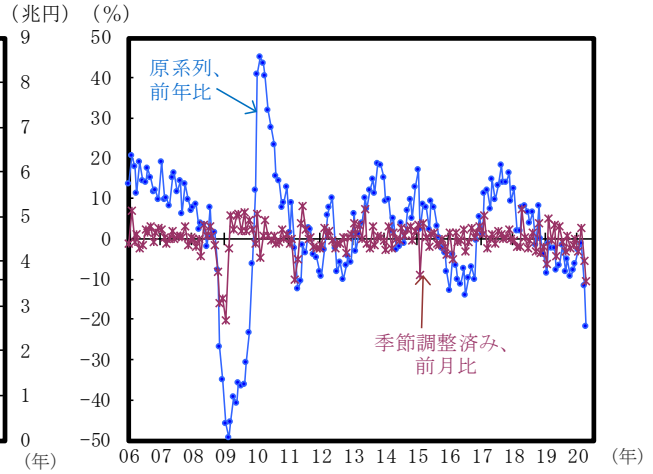
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

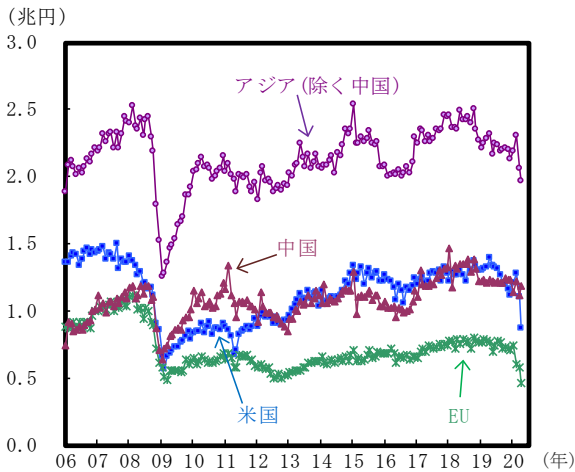


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

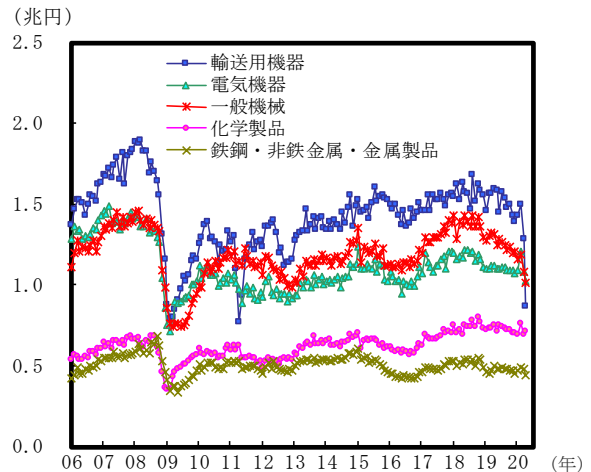


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

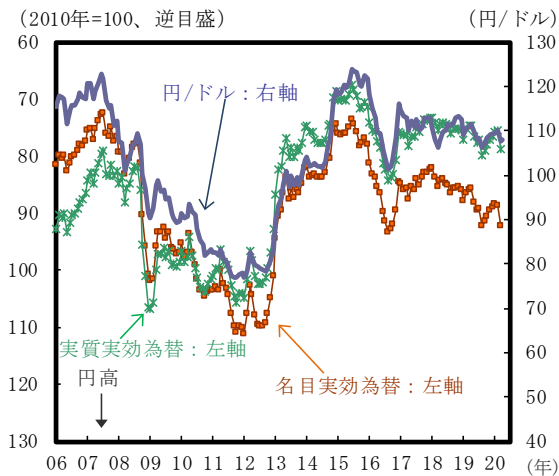


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

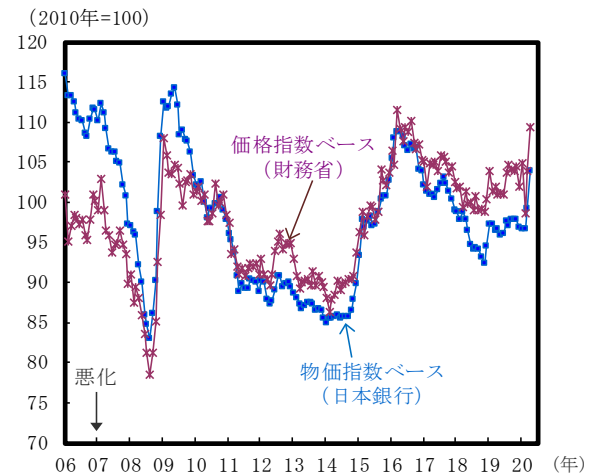


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.9	▲6.3	▲2.6	▲1.0	▲11.7	▲21.9	100.0	▲21.9
食料品	1.2	1.9	▲5.5	▲0.8	▲9.5	▲9.0	1.2	▲0.1
原料品	▲15.6	▲17.2	10.9	7.9	▲4.9	▲17.1	1.6	▲0.3
鉱物性燃料	10.0	▲9.1	▲5.1	▲17.1	▲5.5	▲40.0	1.3	▲0.7
化学製品	▲7.4	▲4.8	▲4.5	3.3	▲5.2	▲6.3	14.3	▲0.7
原料別製品	▲11.1	▲9.1	▲1.9	4.1	▲2.1	▲14.5	12.0	▲1.6
鉄鋼	▲18.2	▲13.3	▲4.0	8.9	7.3	▲9.9	4.4	▲0.4
非鉄金属	▲0.3	1.4	14.1	22.0	5.1	▲4.2	2.1	▲0.1
金属製品	▲7.9	▲10.1	▲3.2	▲3.5	▲13.2	▲22.2	1.7	▲0.4
一般機械	▲12.0	▲6.2	▲9.5	▲8.8	▲17.9	▲23.4	19.8	▲4.7
電気機器	▲5.4	▲3.3	▲1.1	9.8	▲3.5	▲8.8	19.4	▲1.5
半導体等電子部品	▲0.3	2.6	1.4	23.2	6.3	4.3	6.5	0.2
I C	▲1.3	3.9	4.3	21.4	6.0	4.3	4.4	0.1
映像機器	▲13.0	▲17.5	▲6.7	0.3	▲24.8			
映像記録・再生機器	▲12.6	▲14.8	▲2.5	4.9	▲27.8	▲43.1	0.3	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲13.8	▲3.1	▲14.7	7.1	0.1	▲31.2	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲11.7	▲5.6	▲1.1	5.0	▲8.7	▲8.7	2.8	▲0.2
輸送用機器	▲9.7	▲10.7	▲2.1	▲4.1	▲18.2	▲45.5	16.6	▲10.8
自動車	▲7.0	▲11.8	▲4.7	▲4.0	▲13.1	▲50.6	10.1	▲8.1
自動車の部分品	▲8.8	▲10.9	▲4.2	▲3.6	▲17.9	▲39.2	3.8	▲1.9
その他	▲1.5	▲0.8	5.8	▲2.0	▲15.0	▲12.9	13.8	▲1.6
科学光学機器	▲4.1	2.1	0.1	6.4	▲8.8	▲13.1	3.0	▲0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲12.9	▲14.9	▲7.7	▲2.6	▲16.5	▲37.8	100.0	▲37.8
食料品	▲4.7	▲4.7	▲9.8	18.9	▲8.2	▲21.5	0.8	▲0.1
原料品	34.2	0.4	70.3	41.5	34.5	26.0	1.0	0.1
鉱物性燃料	▲21.1	▲12.0	▲9.8	21.6	▲44.9	▲55.0	0.8	▲0.6
化学製品	4.2	▲13.7	▲6.8	11.9	▲4.6	▲6.1	10.6	▲0.4
原料別製品	▲2.9	▲10.6	▲4.9	▲0.6	▲15.5	▲20.6	7.9	▲1.3
鉄鋼	▲23.1	▲25.1	▲34.7	▲21.4	▲31.6	▲28.5	1.4	▲0.3
非鉄金属	9.8	▲18.6	20.4	29.6	▲19.2	▲27.2	0.9	▲0.2
金属製品	13.1	10.1	19.7	1.1	▲2.5	▲21.9	1.9	▲0.3
一般機械	▲14.1	▲10.3	▲9.0	▲5.6	▲20.4	▲27.6	28.1	▲6.7
電気機器	▲10.1	▲12.6	▲2.6	8.6	▲2.1	▲22.1	14.8	▲2.6
半導体等電子部品	▲17.5	▲15.0	▲7.8	▲6.5	▲12.0	▲26.3	1.6	▲0.4
I C	▲18.3	▲16.9	▲3.1	▲12.0	▲13.9	▲31.0	0.7	▲0.2
映像機器	11.1	▲8.0	6.8	15.7	▲7.9			
映像記録・再生機器	10.0	▲4.9	8.5	16.9	▲6.0	▲40.2	0.6	▲0.3
音響・映像機器の部分品	▲16.5	▲30.5	▲26.5	12.1	11.2	▲35.3	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲14.2	▲14.3	▲5.0	3.5	▲11.3	▲20.0	1.6	▲0.3
輸送用機器	▲16.9	▲20.0	▲14.9	▲7.9	▲21.7	▲62.7	23.1	▲24.2
自動車	▲17.1	▲21.4	▲18.5	▲9.2	▲23.7	▲65.8	16.4	▲19.6
自動車の部分品	▲18.9	▲20.4	1.4	2.9	▲17.5	▲40.9	5.2	▲2.3
その他	▲15.4	▲13.0	13.5	▲4.4	▲16.0	▲20.3	12.8	▲2.0
科学光学機器	▲10.2	▲14.1	5.9	1.3	▲9.7	▲33.1	2.3	▲0.7

EU向け輸出金額 内訳								
	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.0	▲8.1	▲1.8	▲23.9	▲26.5	▲39.4	100.0	▲39.4
食料品	▲11.3	4.3	26.1	▲16.5	▲16.4	▲39.8	0.4	▲0.2
原料品	▲9.1	▲2.8	▲16.1	▲17.2	▲16.4	▲26.3	1.1	▲0.2
鉱物性燃料	43.3	64.1	▲92.1	▲69.0	▲49.1	12.9	1.3	0.1
化学製品	▲5.6	▲7.5	15.3	▲0.0	▲11.9	▲6.5	15.4	▲0.7
原料別製品	▲12.9	▲9.6	▲11.9	▲16.6	▲21.6	▲31.1	7.3	▲2.0
鉄鋼	▲6.7	30.7	▲43.4	▲2.0	▲22.1	12.3	1.3	0.1
非鉄金属	▲18.8	▲4.4	21.2	▲31.7	▲7.4	▲28.9	0.9	▲0.2
金属製品	▲14.8	▲29.1	▲11.8	▲21.1	▲30.3	▲44.5	1.4	▲0.7
一般機械	▲19.9	▲16.9	▲16.1	▲27.1	▲32.1	▲38.2	23.8	▲8.9
電気機器	▲11.0	▲9.8	▲6.7	▲19.3	▲20.3	▲38.0	17.6	▲6.5
半導体等電子部品	▲7.7	▲7.3	▲5.6	▲0.4	▲18.9	▲29.4	2.3	▲0.6
I C	▲12.5	▲12.7	▲19.9	▲10.5	▲30.6	▲37.5	0.9	▲0.3
映像機器	▲33.0	▲19.8	▲18.5	▲7.6	▲29.7			
映像記録・再生機器	▲34.6	▲15.9	▲19.7	4.5	▲23.8	▲58.0	0.4	▲0.4
音響・映像機器の部分品	25.6	21.9	▲1.6	0.7	▲30.9	▲0.6	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲19.7	▲11.3	▲13.4	▲23.5	▲27.4	▲31.2	1.9	▲0.5
輸送用機器	9.2	▲5.2	▲4.3	▲26.0	▲24.1	▲59.0	18.5	▲16.1
自動車	11.7	▲4.4	▲15.8	▲28.6	▲32.5	▲63.4	10.3	▲10.8
自動車の部分品	16.9	▲3.5	▲1.4	▲13.0	▲8.1	▲53.3	4.5	▲3.1
その他	▲13.5	2.7	28.7	▲35.2	▲38.9	▲35.6	14.6	▲4.9
科学光学機器	▲9.2	▲8.6	▲4.7	▲0.7	▲23.0	▲35.3	3.4	▲1.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲5.7	▲3.6	▲3.2	1.7	▲9.4	▲11.4	100.0	▲11.4
食料品	2.0	3.2	▲7.8	▲5.0	▲11.6	▲2.6	1.5	▲0.0
原料品	▲20.7	▲20.1	8.9	4.0	▲11.3	▲20.8	2.0	▲0.5
鉱物性燃料	11.0	▲10.1	28.6	9.6	20.5	▲30.9	1.1	▲0.5
化学製品	▲8.8	▲2.7	▲7.8	0.1	▲6.0	▲9.2	16.7	▲1.5
原料別製品	▲13.6	▲10.1	▲3.9	4.1	▲1.8	▲12.2	13.7	▲1.7
鉄鋼	▲20.5	▲16.0	▲6.8	7.0	5.0	▲13.1	5.3	▲0.7
非鉄金属	▲5.5	0.0	9.9	20.1	7.5	1.6	3.1	0.0
金属製品	▲9.6	▲10.7	▲8.9	▲3.5	▲15.0	▲17.0	1.7	▲0.3
一般機械	▲6.9	0.1	▲6.3	▲8.9	▲17.2	▲18.9	18.0	▲3.7
電気機器	▲3.9	▲1.3	▲0.0	14.8	▲1.5	1.4	23.8	0.3
半導体等電子部品	1.0	4.3	2.2	26.9	9.0	8.3	9.8	0.7
IC	▲0.4	5.3	5.3	24.3	8.3	7.2	7.0	0.4
映像機器	▲23.1	▲27.0	▲13.3	▲14.3	▲42.9			
映像記録・再生機器	▲15.1	▲18.3	▲1.3	▲5.2	▲43.8	▲35.7	0.2	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲14.9	2.7	▲9.8	8.6	1.5	▲32.3	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	▲10.1	▲4.8	1.4	8.5	▲6.2	▲3.8	3.6	▲0.1
輸送用機器	▲4.8	▲15.7	▲3.6	2.3	▲21.2	▲32.0	7.5	▲3.1
自動車	▲1.0	▲4.3	7.0	7.8	4.1	▲30.2	3.7	▲1.4
自動車の部分品	▲11.7	▲13.7	▲12.6	▲6.8	▲30.7	▲28.8	2.9	▲1.0
その他	3.1	4.0	▲3.5	▲1.6	▲13.3	▲5.0	15.6	▲0.7
科学光学機器	▲0.5	8.8	▲0.4	8.5	▲6.0	▲2.1	3.6	▲0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲5.4	0.8	▲6.4	▲0.4	▲8.7	▲4.1	100.0	▲4.1
食料品	27.8	28.4	0.4	▲17.0	▲1.2	18.9	1.1	0.2
原料品	▲57.8	▲52.8	▲3.2	▲24.4	▲36.9	▲39.8	1.4	▲0.9
鉱物性燃料	▲49.4	▲44.5	▲30.5	▲34.0	▲32.8	▲24.5	0.6	▲0.2
化学製品	▲4.5	2.4	▲8.9	▲1.6	▲5.9	▲7.5	17.8	▲1.4
原料別製品	▲2.8	▲0.1	▲8.4	▲1.8	▲6.1	▲5.6	11.3	▲0.6
鉄鋼	▲13.3	▲1.4	▲0.9	3.6	2.0	▲9.2	3.1	▲0.3
非鉄金属	22.2	9.7	▲9.7	▲1.9	11.8	13.1	3.2	0.4
金属製品	▲0.6	▲3.3	▲15.8	▲8.1	▲18.6	▲12.6	1.7	▲0.2
一般機械	▲6.1	7.6	▲3.5	▲13.3	▲14.6	▲12.1	21.3	▲2.8
電気機器	▲6.5	▲3.4	▲5.6	17.1	▲1.5	10.3	22.7	2.0
半導体等電子部品	▲10.0	▲10.1	▲8.2	31.6	14.5	29.4	7.7	1.7
IC	▲17.2	▲17.1	▲10.0	26.5	17.4	40.2	5.3	1.5
映像機器	▲20.8	▲21.8	7.2	▲14.1	▲46.4			
映像記録・再生機器	▲5.8	▲6.0	39.9	8.4	▲48.8	▲21.6	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲5.9	14.5	▲23.9	11.4	4.2	▲21.2	0.4	▲0.1
電気回路等の機器	▲12.2	▲2.8	1.2	10.6	▲12.4	0.8	3.7	0.0
輸送用機器	5.4	9.7	5.8	12.3	▲9.8	▲13.7	9.0	▲1.4
自動車	34.4	36.3	32.0	28.5	19.2	▲10.0	4.7	▲0.5
自動車の部分品	▲16.4	▲11.5	▲17.8	▲4.4	▲37.6	▲18.5	4.1	▲0.9
その他	0.9	4.4	▲14.9	2.1	▲6.8	7.4	14.8	1.0
科学光学機器	▲0.4	14.9	▲2.6	6.0	▲3.1	3.9	5.2	0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成